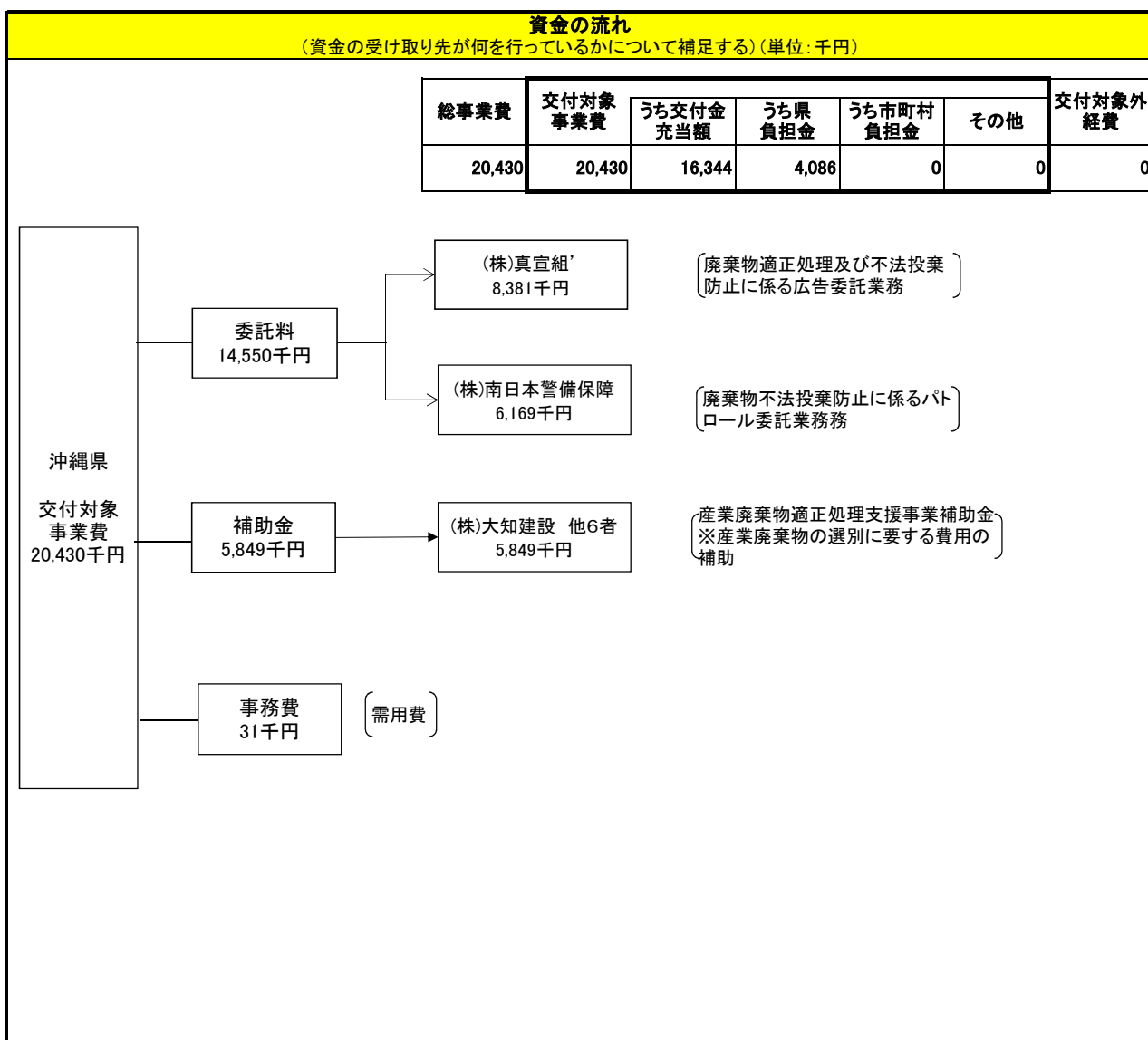


## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	30 廃棄物適正処理緊急特別対策事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-イ				
担当部課名	環境部環境整備課	事業実施 (予定)年度	H30 ~ R1 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	適正処理の推進  Ⅲ-10-(2)	
事業内容	県内大手の産業廃棄物処理業者の許可取消により、不法投棄が発生するおそれがあるため、廃棄物の適正処理等に対応する取り組みを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額					124,997
		(b) 予算現額					21,157
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	▲ 103,840
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計 (b+d)	0	0	0	0	21,157
	B. 執行済額						20,430
	うち交付金充当額						16,344
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	96.6%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急的に廃棄物の適正処理に対応する事業として、委託料及び補助金を計上した。</li> <li>別業者が産業廃棄物処理業の許可を取得し営業を開始したことにより、県内での適正処理が可能となり、補助対象の処理量が少なくなるため、減額補正を行った。</li> <li>執行率は96.6%であり、概ね計画的に執行できた。</li> </ul>					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	産業廃棄物の選別に要する費用に対し補助	目標				選別費に対する補助	
		実績				選別費に対する補助	
	県外へ搬出せざるを得ない産業廃棄物の海上輸送費について補助	目標				海上輸送費に対する補助	
		実績				実績なし	
廃棄物適正処理及び不法投棄防止に係る新聞紙面への広告及びラジオCMによる広報並びにパトロールの実施	目標				広告及びパトロールの実施		
	実績				広告及びパトロールの実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の選別に要する費用に対し補助を行った。</li> <li>産業廃棄物の海上輸送費の補助については、県内処理業者の受入が可能となるまで自社ヤードで保管したこと、別業者が許可を取得し県内での適正処理が可能となったため、補助金交付申請が無かった。</li> <li>県民、排出事業者、廃棄物処理業者に対して、ラジオ広告、新聞広告、ポスター及びリーフレットを通して廃棄物の適正処理及び不法投棄防止を広く周知した。</li> <li>パトロール車による不法投棄現場等の監視を実施し、不法投棄物の早期発見、廃棄物の不法投棄防止及び啓発を行った。</li> </ul>						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (H28年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (〇〇年度)
	不法投棄実態調査において、平成30年度新規確認件数が平成28年度の新規確認件数(17件)を下回ること	目標	-			17件未満	-
		実績	17件			12件	-
	【参考指標】 不法投棄実態調査における新規確認件数	目標	-				-
		実績	-	17件	15件		-
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の選別に要する費用に対する補助、廃棄物適正処理及び不法投棄防止に係る広報及びパトロールに取り組んだ結果、平成30年度の新規確認件数は12件で、目標達成した。</li> </ul>						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物の処理を委託する際、排出事業者は事前の委託契約書締結、マニフェストの交付義務があるが、遵守されていない事案もあるため、排出事業者に対する周知・指導が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排出事業者に対し、産業廃棄物の適正処理の周知を図る。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の不適正処理を防止するため、引き続き監視・指導を実施する。</li> <li>排出事業者に対して、産業廃棄物の適正処理の周知(排出事業者の義務)及び指導を実施する。</li> <li>業界団体への周知を実施する。</li> </ul>		

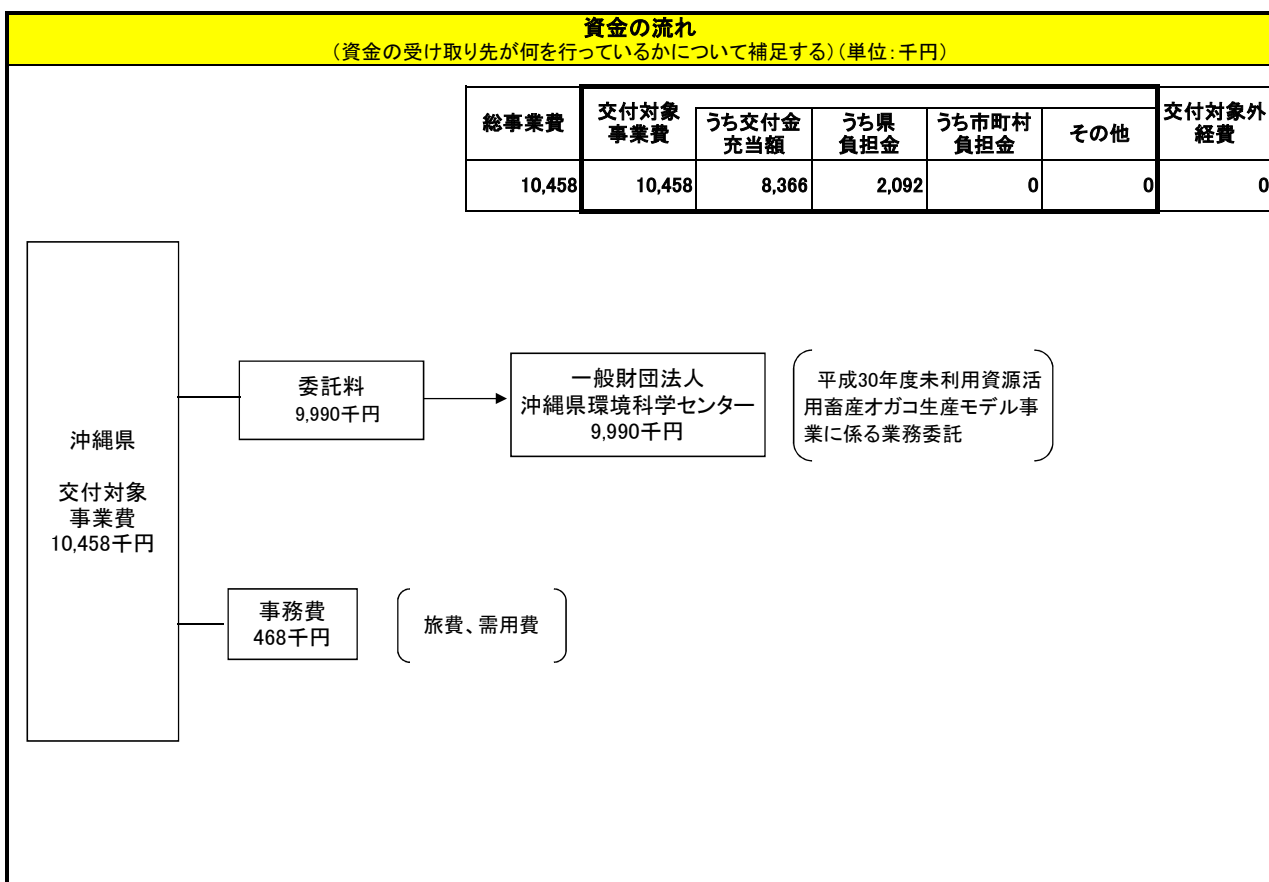


資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委託事業者は、一般競争入札により選定したため、妥当であったと考える。</li> <li>○費用・用途については、事業報告書等进行检查し、適正であることを確認した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	99	未利用資源活用畜産オガコ生産モデル事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア		
担当部課名	農林水産部畜産課	事業実施 (予定)年度	H24 ~ H30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	3Rの推進		
事業内容	オガコは、悪臭や水質汚濁などの畜産環境の改善に適しているものの、オガコの価格や品質に課題があるため、下記①及び②の取り組みを行う。 ①県内の街路樹を剪定した木材を活用したオガコ生産モデルの設置を行い、低コスト化・定品質化の検討を行う。 ②剪定枝オガコ利用に係る実証を行い、県内産オガコ利用を推進する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	11,458		40,077		10,550
		(b)予算現額	11,479		40,077		10,550
		(c)増減額(b-a)	21	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A.計(b+d)	11,479	0	40,077	0	10,550
	B.執行済額		11,231		39,214		10,458
	うち交付金充当額		8,985		31,371		8,366
	C.次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.8%	#DIV/0!	97.8%	#DIV/0!	99.1%
予算の状況の説明		・執行率は99.1%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	①県内の街路樹等を剪定した木材を活用したオガコ生産モデルの設置	目標				生産モデルの設置	
		実績				生産モデルを設置した	
	①【H29以前の活動目標】 オガコ生産現場での有毒植物混入検査技術の検討	目標			有毒植物混入検査技術の検討		
		実績			有毒植物混入検査技術の検討		
②剪定枝オガコ利用に係る実証	目標		1箇所	1箇所	実証		
	実績		0箇所	1箇所	実証を行った		
達成状況説明	①県内の街路樹等を剪定した木材を活用したオガコ生産モデルの設置については、剪定枝オガコの製造コスト及び品質評価と手法について検討した。 ②畜産向け剪定枝オガコ利用モデルの実証農家を1箇所設置した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (R3年度)
	①県内の街路樹等を剪定した木材を活用したオガコ生産モデルの設置(単価2,000円台/m <sup>3</sup> 、粒度12mm以下、水分30%以下の剪定枝オガコの生産)	目標	-	-	-	1事例	-
		実績	-	-	-	1事例	-
	②剪定枝オガコ利用に係る実証	目標	-	-	-	1農家	-
		実績	-	-	-	2農家	-
	【R3成果目標】 県内の剪定枝で製造したオガコを利用する養豚農家数		目標	-	-	-	剪定枝オガコ利用農家 18戸以上
進捗状況説明	①粒度12mm以下、水分30%以下の条件を達成する手法について検討し、報告書を作成され、目標を達成した。 ②畜産向け剪定枝オガコ生産モデルを養豚で1箇所、肉用牛で1箇所、合計2箇所設置し、報告書を作成し、目標を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①有害植物の混入を防止するため、剪定枝搬出ルールが必要であるが、制度としての設置が課題である。	①剪定枝の搬出及び産廃処理を兼任して行っている業者であれば、有毒職分の分別や混入状況が一貫して管理が可能となる。
	②-1 キョウチクトウが含まれる堆肥での栽培試験において、有害物質の移行が確認され有害植物の混入リスクが課題となる。 ②-2 養豚での実証試験では、1日増体重が低い傾向であるが有効な資材であった。	②剪定枝オガコ生産におけるコスト積算において2,400円と設定している。近年ではオガコ価格が3,000~4,000円台まで上昇しており、利用が難しい状況となっているため、未利用資源である剪定枝オガコの利用率は高い。 また、堆肥の副資材としても利用が可能である。
今後の取り組み方針		
<p>①潜在的に4,000~5,000トンの受入量があり、搬出及び産廃処理の兼任している業者を選定し、剪定枝オガコ生産につなげるため補助事業の可能性について検討を行う。</p> <p>②剪定枝オガコ生産が業として成立させるため、オガコ利用農家や堆肥センターとのマッチング及び新規利用者の掘り起こしによる利用拡大に取り組む必要がある。</p>		



評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・使途の点検評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、業務の内容および特殊性等から平成27年度公募型プロポーザル方式により選定しており、前年度の実績と蓄えたノウハウを生かし、限られた期間内で円滑に業務を遂行するため、本事業に熟知し必要な業務体制を備えた業者と随意契約を行い、妥当であったと考えている。
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	- 受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出に関する書類により確認し適正であった。